

授業科目名： 道徳教育の理論と方法		専攻・領域：教育学
担当教員名：内海崎 貴子		534110／半期／選必／2 単位／講義
【到達目標】 歴史的及び道徳性の発達の視点から道徳教育の諸理論とそれに基づく道徳教育の方法を理解し、適切な授業方法を選択することができる。		
【授業の概要(目的)】 教育法規と学習指導要領を踏まえながら現在の道徳教育の課題を整理し、日本の道徳教育の歴史と道徳性の発達理論を理解した上で、道徳の授業方法の理論と実践例を学習する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスを確認し、参考文献リストを作成する (2時間) オリエンテーション (本授業の目的・概要の説明、学校教育における道徳教育の現状について) 小中学校の道徳の授業内容を思い出し、整理しておく。(2時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	教育関連法規を確認し、学習指導要領の構造を整理する (2時間) 教育関連法規、学習指導要領と道徳教育 学習指導要領における道徳教育とその他の教育活動についてまとめる (2時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の歴史 (1) 修身教育と教育勅語 教育勅語を英訳版と比較し、内容を精査する (2時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の歴史 (2) 戦後教育改革から「道徳の時間」設置・「期待される人間像」へ 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の歴史 (3) 教育基本法の改訂と道徳の教科化 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳性の発達理論 (1) 精神分析理論 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	道徳参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 性の発達理論 (2) 社会的学習理論 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳性の発達理論 (3) 認知発達理論 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳性の発達理論 (4) ケアリング理論 課題レポートを作成する (6時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の方法 (1) 「読み物資料」を用いた授業の理論と実践例 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の方法 (2) 「参加体験型」授業の理論と実践例 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の方法 (3) モラルジレンマ授業の理論と実践例 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間) 道徳教育の方法 (4) 「問題解決型」授業の理論と実践例 授業内容を振り返り、内容を整理する (2時間)
第14回	事前学修	参考書の関連個所を読んでおく (2時間)

14 回	授業内容 事後学修	道徳教育の方法（5）ケアリング・アプローチ授業の理論と実践例 課題レポートを作成する（6時間）
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	課題レポート報告の準備をする（2時間） 全体の振り返りとまとめ これまでの学習を振り返り、確認する（2時間）
<p>【成績評価の方法】 道徳性の発達理論に関するレポート（50%）、授業実践例に関するレポート（50%）</p> <p>【フィードバック】 レポートのコメントを記述して返却する。</p> <p>【テキスト】 指定しない。毎回、資料を配布するのでファイリングすること。</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説道徳編』東洋館出版社、2008年 文部科学省『わたしたちの道徳』（3冊）2014年 貝塚茂樹著『道徳教育の教科書』学術出版会、2009年 ローレンス・コールバーグ著岩佐信道訳『道徳性の発達と道徳教育』麗澤大学出版会、1987年 キャロル・ギリガン著岩男寿美子監訳『もうひとつの声ー男女の道徳観の違いと女性のアイデンティティー』川島書店、1986年 ネル・ノディングズ著立山善康他訳『ケアリングー倫理と道徳の教育ー女性の観点から』晃洋書房、2002年</p> <p>【履修上の注意等】 各回の授業内容に関する文献を熟読すること。</p>		

授業科目名： 道徳教育実践演習		専攻・領域： 教育学
担当教員名： 内海崎 貴子		534111／半期／選必／2 単位／演習
【到達目標】 適切な教材収集と教材研究の方法を獲得し、道徳の内容に即した授業を組み立て、実践することができる。		
【授業の概要(目的)】 学習指導要領の内容に沿った学年ごとの教材収集および資料の分析、各領域に適切な資料と指導法の選択による学習指導案の作成と模擬授業の実施、より良い授業実践に向けて全体を総括する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスを確認し、履修計画作成の準備をする。【1時間】 レクチャー：本授業の目的・概要の説明、履修者各自の履修計画作成 作成した履修計画に従って、教材を準備する。【3時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領を読み、重点項目を整理する。【1時間】 学習指導要領内容項目の確認、教材研究方法の説明、授業研究(模擬授業を含む)計画の作成 授業研究計画に従って、教材研究を開始する。【3時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究：主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究：主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】

第12回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第15回	事前学修 授業内容 事後学修	これまでの教材研究、学習指導案を整理しておく。【2時間】 全体の振り返り、履修計画・授業計画の相互確認と課題の抽出 授業内容から、今後の課題について研究を進める。【2時間】
<p>【成績評価の方法】 履修者の学習計画および教材研究記録(30%) 授業研究参加記録(30%) 模擬授業のための学習指導案(40%)による総合評価</p> <p>【フィードバック】 教材研究記録、授業参観記録、学習指導案はすべてコメントして返却する。</p> <p>【テキスト】 文部科学省『小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編』文部科学省『小学校道徳読み物資料集』2011年 文部科学省『わたしたちの道徳1・2年生』 『わたしたちの道徳3・4年生』 『わたしたちの道徳5・6年生』 2014年</p> <p>【参考書】 文部科学省『こころのノート小学校1・2年』 『心のノート小学校3・4年』 『心のノート小学校5・6年』 『心のノート中学校』 『私たちの道徳中学校』 貝塚茂樹著『道徳教育の教科書』学術出版会、2009年 地域資料:例;我孫子市教育委員会『あびこの先人たち』</p> <p>【履修上の注意等】 教材研究、授業研究を主とすることから、事前・事後学修の時間を十分に確保すること。</p>		

授業科目名：音楽科教育の理論と方法		専攻・領域：教育学
担当教員名：尾見 敦子		534124／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】 教科としての音楽に関する国内外の研究・実践の歩みを横断的・横断的に概観し、特に諸外国との比較教育の視点から、我が国の小学校における音楽科教育の課題と展望を明確にすることをめざす。		
【授業の概要（目的）】 文献講読と映像資料の視聴をとおして、1. 諸外国と日本の公教育における音楽科教育の成立から今日に至る歴史的な変遷、2. 音楽教育に関する哲学の変遷、3. 世界の音楽教育思潮と実践の体系、4. 音楽の教授・学習に関する研究動向に学び、自らの音楽教育実践の理論的基盤を形成する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1, 2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスを読み、履修の目標を立てる。【2時間】 オリエンテーション（授業の趣旨、内容、方法、評価等） オリエンテーションをもとに本授業の履修に必要な事柄について整理し、履修計画を立てる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽科教育研究を構成する学問領域 音楽科教育の研究領域ごとに課題を整理する。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷（1）明治期 明治期の音楽教育について整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷（2）大正期～昭和（戦前）期 大正期～昭和（戦前）期の音楽教育について整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷（3）昭和（戦後）期～平成期 昭和（戦後）期～平成期の音楽教育について整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史的変遷（1）ドイツ・フランス・スイス・アメリカ ドイツ・フランス・スイス・アメリカの音楽科教育の歴史的変遷について整理し、まとめる。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史的変遷（2）ハンガリーとフィンランド ハンガリーとフィンランドの音楽科教育の歴史的変遷について整理し、まとめる。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する哲学的研究の理論と方法 哲学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する音楽学的研究の理論と方法 音楽学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する心理学的研究の理論と方法 心理学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する教授学的研究の理論と方法 教授学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第	事前学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】

12 回	授業内容 事後学修	現行教育課程における音楽科カリキュラムと構造 音楽科の現行教育課程について諸外国との比較において考察し、まとめる。【2時間】
第 13 回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 現行教育課程における音楽科教育の学習指導法と評価法 音楽科固有の学習指導法と評価法について考察し、まとめる。【2時間】
第 14 回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽科教育における「幼小接続」と「小中接続」のための理論と方法 諸外国との比較において音楽科教育における「幼小接続」と「小中接続」についてまとめる。【2時間】
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 学校音楽科の学習指導の開発と研究法（まとめ） 15回の学修をふりかえり、要点と課題を整理する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】 音楽科教育に関する概念と知識を習得したか、授業に積極的に取り組んだか、総合レポートに独創性があるか等の観点から総合的に評価する。</p> <p>【フィードバック】 課題やレポートは添削して返却する。</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。</p> <p>【参考書】 『初等科音楽科教育法』音楽之友社、2011年 『音楽教育メソードの比較 コダーイ、ダルクローズ、オルフ、CM』全音楽譜出版社、1994年 『コダーイ・システムとは何か』全音楽譜出版社、1974年</p> <p>【履修上の注意等】 特になし</p>		

授業科目名：音楽科教育実践演習		専攻・領域：教育学
担当教員名：尾見 敦子		534124／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】 児童の音楽的発達、小学校の音楽科教育を支える音楽の知識と技能、教授法を習得し、授業の実践的総合力を高める。		
【授業の概要（目的）】 小学校における音楽科教育の内容の各領域に必要な知識と技能の向上をはかり、教材分析に繋げるとともに、児童の興味と音楽的発達を促す教授法を研究する。〔共通事項〕と日本の伝統音楽の指導法について重点的に扱う。模擬授業の構想、模擬実践、相互評価を通して総合的な実践力を高める。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1, 2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスを読み、履修の目標を立てる。【2時間】 オリエンテーション（授業の目的と進め方、評価等） 本授業の履修に必要な事柄について整理し、履修計画を立てる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 音楽科教育の今日的課題と意義 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 ソルフェージュ教育の意義と方法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 音楽的発達と教材・教授法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 歌唱の技能の基礎演習と教授法の研究 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 器楽の技能の基礎演習と教授法の研究 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 音楽づくりの基礎演習と教授法の研究 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 鑑賞の技能の基礎演習と教授法の研究 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 表現と鑑賞における〔共通事項〕の指導法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 日本の伝統音楽（歌唱）の指導法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 日本の伝統音楽（楽器）の指導法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 演奏と鑑賞の評価方法 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 模擬授業の演習（1）構想 本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 模擬授業の演習（2）実践と評価

回	事後学修	本時のテーマについて整理を行う。【2時間】
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	前時に示す予習課題を行う。【2時間】 まとめ 15回の学修をふりかえり、要点と課題を整理する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】 音楽科教育の内容の各領域に必要な知識と技能を向上させ、教材分析に繋げることができたか、児童の音楽的発達を理解し、発達をふまえた教授法を理解し、習得できたか、など、各回の学習の達成度に基づく評価を行う。</p> <p>【フィードバック】 課題やレポートは添削して返却する。</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。</p> <p>【参考書】 『初等科音楽科教育法』音楽之友社、2011年 『音楽教育メソッドの比較 コダーイ、ダルクローズ、オルフ、CM』全音楽譜出版社、1994年 『コダーイ・システムとは何か』全音楽譜出版社、1974年</p> <p>【履修上の注意等】 特になし</p>		

授業科目名： 発達心理学特論		専攻・領域：教育学
担当教員名： 佐藤 哲康		534125／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】 生涯発達の観点で胎生期から老年期に至る各発達段階における発達課題を説明できる。 支援や教育などに発達心理学的観点を応用でき、かつ問題に対処できる。		
【授業の概要(目的)】 発達心理学の考え方・研究法、学校教育の基盤としての発達心理学、ヒトの生涯の発達の過程における児童期の重要性などを理解し、学校現場での教育実践において、適切な理論的背景を持つ。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP：1,2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 発達とは何か（発達心理学の考え方・研究法） レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 学校教育の基盤としての発達心理学 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 生涯発達心理学の全体像 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 成熟と発達と学習の関係 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 乳児の知覚・認知機能の発達 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 認知・思考の発達（認知発達理論と情報処理発達論） レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 知能に関する理論（流動性知能と結晶性知能を含む多重知能理論） レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 乳児の社会的微笑、愛着と親子関係、幼児の対人関係の広がりと問題 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 言語の発達（語彙獲得・文法獲得をはじめとする言葉の獲得） レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 こころの理論とメタ認知の発達 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 自己概念の形成と自我の芽生え レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 社会性の発達（反抗期、遊びの発達、仲間関係、道徳心と向社会的行動、ギャングエイジ） レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 学校の中でのまなびと発達、その問題 レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第14回	事前学修 授業内容	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 職業選択、職業人としての発達、親としての発達

回	事後学修	レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
第 15 回	事前学修 授業内容	授業内容について問題意識を持ち、回答を準備しておく【2時間】。 老年期の発達課題と問題点
回	事後学修	レジュメや関連する書籍などを読みなおし、内容を整理する【2時間】。
<p>【成績評価の方法】 成績評価は授業時の発言や参加意欲（20%）、振り返りレポート（40%）と課題レポート（40%）を総合的に評価する。</p> <p>【フィードバック】 提出された振り返りレポートは授業内で、課題レポートは終了後に内容のフィードバックを行う。</p> <p>【テキスト】 授業中に参考資料を適宜指示、配布する。</p> <p>【参考書】 授業中に指示する。</p> <p>【履修上の注意等】 特になし。</p>		

授業科目名：国語科教育の理論と方法		教育学・教職
担当教員名：田中 孝一		534112／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】		
(1) 国語科教育に関して学問的・理論的な整理を行い、その体系を理解することができる。		
(2) 国語科の授業の在り方・方法等について多面的・実践的に理解することができる。		
【授業の概要(目的)】		
小学校における国語科教育について、学問的な整理を行うとともに、授業展開のための理論と方法を習得し、実践的な資質と能力を確実に育てる。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の概要をつかみ、自分の受けた国語科の授業を振り返る。【2時間】 ガイダンス及び国語科授業に関する自分の体験の振り返り 自分受けた国語科の授業の成果と課題を整理する。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領等により、教育課程における国語科の位置を理解する。【2時間】 学校教育における国語科の位置付けと役割 全教育課程における国語科の授業時数の割合等を整理する。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領解説総則編等により、戦後の国語科の位置付けを整理する。【2時間】 戦後の国語科教育の制度的仕組み(学習指導要領等から) 国語科の目標、内容等の変遷を整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	指導論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2時間】 国語科教育の主な理論(学習者論、目標論、指導論等) 学習者論、目標論を整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	教材論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2時間】 国語科教育の主な理論(教材論、評価論等) 評価論を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	学習者論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2時間】 国語科教育の学習者論と目標論(児童の発達段階に応じて、国語科で育成する能力など) 目標と児童の発達段階との関連を整理する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	年間指導計画の例を探し、その特徴をまとめる。【2時間】 国語科教育の指導論(1)単元の構成、指導過程の構成 単元の指導計画のポイントを実例に即してまとめる。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	国語科の言語活動例をまとめる。【2時間】 国語科教育の指導論(2)育成する能力と言語活動の設定 指導事項と言語活動例の関係を指導事項に即して具体的にまとめる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	読むことの領域の教材の種類をまとめる。【2時間】 国語科教育の方法(1)文章の種類等に応じた読むことの指導(説明的文章、文学的文章等) 文章の種類に応じた指導事項ごとの内容をまとめる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	書くことの領域の指導事項の特色をまとめる。【2時間】 国語科教育の方法(2)文章表現指導 書くことの指導の簡単な指導案を作成する。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	話すこと・聞くことの指導事項の特色をまとめる。【2時間】 国語科教育の方法(3)音声言語指導 書くことの指導の簡単な指導案を作成する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	常用漢字表の特色、字数等をまとめる。【2時間】 国語科教育の方法(4)漢字の指導及び書写の指導 漢字の指導法、書写の指導法の簡単な指導案を作成する。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	すべての検定教科書の目次等を整理する。【2時間】 国語科教育の教材論(教科書、教材開発、教材研究) 教材を1つ選択し、教材としての価値等を考察する。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容	学習評価の考え方、方法等について、国研の参考資料等を参照してまとめる。【2時間】 国語科教育の評価論(目標に準拠した評価)

回	事後学修	国語科の指導と評価の簡単な計画を作成する。【2時間】
第	事前学修	カリキュラム・マネジメントについて調べてまとめる。【2時間】
15	授業内容	カリキュラム・マネジメントの視点に立つ国語科の創造(年間指導計画,他教科との関連等)
回	事後学修	他教科等も意識した年間指導計画を作成する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】 ○ 授業への取組状況(関心・意欲・態度)20% ○ 授業における課題レポート(事前学習,事後学修等)30% ○ 授業における発表 30% ○ 期末におけるレポート 20%</p> <p>【フィードバック】 ○ 授業における配付資料,作成資料等の演習資料をファイルに整理する。それにより,学習の過程と取組がすべて「見える」ようにし,各段階で自己評価を的確に行う。そこで得られた課題については新たに学習の機会を持つ。</p> <p>【テキスト】 森田信義他『新訂国語科教育学の基礎』溪水社,平成25年</p> <p>【参考書】 ①全国大学国語教育学会『国語科教育学研究の成果と展望』明治図書,平成14年 ②浜本純逸『国語科教育総論』溪水社,平成23年 ③『国語教育史資料』全6巻 東京法令,昭和56年 ④国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成のための参考資料(小学校)』,平成22年 ⑤国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校)』,平成23年 ⑥文部科学省・国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」問題及び関連資料,平成19~27年 (④,⑤,⑥については各ホームページで検索可能)</p> <p>【履修上の注意等】 特になし。</p>		

授業科目名：国語科教育実践演習		教育学・教職
担当教員名：田中 孝一		534113／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】		
(1) 国語科教育に関して、実際の授業展開のための実践的な資質と能力を確実に高める。		
(2) 指導と評価の計画を作成しそれに基づく1単元の授業を行うことができる。		
(3)		
【授業の概要(目的)】		
小学校における国語科を1教師として担当することを想定して、教科の構造、教材、指導と評価、評価問題の作成等の視点に立って課題設定を行い、その実践演習を通して、実践的な資質と能力を高める。		
【ディプロマ・ポリシー】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の概要をつかみ、国語科授業の課題等について整理する。【2時間】 ガイダンス及び国語科授業の在り方のまとめ 国語科授業の課題の解決のために必要な事柄をまとめる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	現代の教育課題を挙げ、その要因等について整理する。【2時間】 現代の教育課題と国語科教育の役割(基礎的・汎用的能力、キー・コンピテンシー、言語活動の充実) 国語科教育がこれから求められる資質能力の向上にいかに関与すべきかをまとめる。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	全国の取組の中から1つを選び、紹介する資料を作成する。【2時間】 国語科教育の現状(全国の取組における成果と課題) 全国の取組の中から成果の大きい取組について考察する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領国語科の趣旨、内容等についてまとめる。【2時間】 現行教育課程国語科の構造(1)学習指導要領が示す国語科の目標、内容等と仕組み 国語科の授業の課題について、学習指導要領の趣旨から整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	言語活動例を生かした授業の事例をまとめる。【2時間】 現行教育課程国語科の構造(2)指導事項と言語活動例の関連 指導目標と言語活動例との関係を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	教科書の教材から同じ領域の教材をまとめる。【2時間】 国語科の教材の特質(教材開発、教材化、教科書教材) 新聞記事から教材として使用できる資料を選定し、育成する能力を設定する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	指導目標と評価規準との関係を整理する。【2時間】 国語科の授業研究(1)指導と評価の一体化と評価の観点 評価の観点に基づく指導目標を設定する。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	国研の参考資料から国語科の指導計画のポイントをまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(2)指導と評価の計画の考え方 具体的な指導計画における評価の方法等の適切さ等をまとめる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	実際の小学校の指導計画の例に基づき、その特徴等をまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(3)指導と評価の計画の実例の検討(以下、グループ活動) 実際の授業をイメージして、指導計画の効果を確かめる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の基になった指導計画のポイントをまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(4)指導と評価の計画に基づく実践授業例の検討 実践授業例のいい点と改善点をまとめる。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	授業を行う領域等を学習指導要領を基に決める。【2時間】 国語科の授業研究(5)単元又は1時間の指導と評価の計画の作成 作成した指導計画を再検討し修正する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の流れ、板書計画等を確認し、シミュレーションを行う。【2時間】 国語科の授業展開の実際(1)指導と評価の計画に基づく授業実践(模擬授業) 行った授業のよかった点、改善点をまとめる。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	行った授業の修正案を作成する。【2時間】 国語科の授業展開の実際(2)指導と評価の計画に基づく授業実践の検討 授業の修正案を完成させ、そのポイントをまとめる。【2時間】
第14回	事前学修	全国学力・学習状況調査の概要をまとめる。【2時間】

14 回	授業内容 事後学修	評価問題の作成の技術と実際(1)テストと学習評価(全国学力・学習状況調査の問題の検討) 評価問題作成のポイントをまとめる。【2時間】
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	行った授業に基づく評価問題を作成する。【2時間】 評価問題の作成の技術と実際(2)テスト作成の実際 作成した評価問題と指導計画と一体性を点検する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】</p> <p>○ 授業への取組状況20% ○ 授業における課題レポート(事前学習,事後学修等)30%</p> <p>○ 授業における発表30% ○ 期末におけるレポート20%</p> <p>【フィードバック】</p> <p>○ 授業における配付資料,作成資料等の演習資料をファイルに整理する。それにより,学習の過程と取組がすべて「見える」ようにし,各段階で自己評価を的確に行う。そこで得られた課題については新たに学習の機会を持つ。</p> <p>【テキスト】</p> <p>森田信義他『新訂国語科教育学の基礎』溪水社,平成25</p> <p>【参考書】</p> <p>①全国大学国語教育学会『国語科教育学研究の成果と展望』明治図書,平成14</p> <p>②浜本純免『国語科教育総論』溪水社,平成23</p> <p>③『国語教育史資料』全6巻 東京法令,昭和56</p> <p>④国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成のための参考資料(小学校)』,平成22</p> <p>⑤国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校)』平成23</p> <p>⑥文部科学省・国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」問題及び関連資料,平成19~27</p> <p>(④,⑤,⑥については各ホームページで検索可能)</p> <p>【履修上の注意等】</p> <p>特になし。</p>		

授業科目名：算数科教育の理論と方法		専攻・領域:教育学
担当教員名：原田 耕平		534114／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】算数学習における子どもの認識の特徴とそれともなう学習の困難性を理論的に説明できる。 ・子どもの認識の発展を支援する多様な算数学習の理論と指導法を理解し、具体的な指導事例を構築できる。		
【授業の概要(目的)】算数学習における子どもの認識の特徴と学習の困難性を明確にするために、ピアジェの認知心理学をベースにした分析を行うとともに、算数学習での子どもの認識の発展を支援する学習指導法の理論と指導法を探究する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスによって授業内容を理解し、子どもの認知発達について調べる。[2時間] 子どもの認知発達と算数学習の課題 他の書籍によって子どもの認知発達と算数学習の課題を整理する。[2時間]
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(1) 感覚・運動的知能段階 他の書籍によって感覚・運動的知能段階の思考の特徴を整理する。[2時間]
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(2) 前操作的知能段階 他の書籍によって前操作的知能段階の思考の特徴を整理する。[2時間]
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(3) 具体的操作思考段階 他の書籍によって具体的操作思考段階の思考の特徴を整理する。[2時間]
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(4) 形式的操作思考段階 他の書籍によって形式的操作思考段階の思考の特徴を整理する。[2時間]
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について数と計算の領域で調べる。[2時間] 算数学習における子どもの困難性(1) 数と計算の領域 算数学習における子どもの困難性について数と計算の領域で整理する。[2時間]
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について量と測定の領域で調べる。[2時間] 算数学習における子どもの困難性(2) 量と測定の領域 算数学習における子どもの困難性について量と測定の領域で整理する。[2時間]
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について図形の領域で調べる。[2時間] 算数学習における子どもの困難性(3) 図形の領域 算数学習における子どもの困難性について図形の領域で整理する。[2時間]
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について数量関係の領域で調べる。[2時間] 算数学習における子どもの困難性(4) 数量関係の領域 算数学習における子どもの困難性について数量関係の領域で整理する。[2時間]
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論としてピアジェの均衡化理論を調べる。[2時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(1)ピアジェの均衡化理論 算数学習の理論と指導法としてピアジェの均衡化理論を整理する。[2時間]
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論としてピアジェ学派の学習理論を調べる。[2時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(2)ピアジェ学派の学習理論 算数学習の理論と指導法としてピアジェ学派の学習理論を整理する。[2時間]
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として新ピアジェ学派の理論を調べる。[2時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(3)新ピアジェ学派の学習理論 算数学習の理論と指導法として新ピアジェ学派の学習理論を整理する。[2時間]
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として社会的構成主義の理論を調べる。[2時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(4)社会的構成主義の学習理論 算数学習の理論と指導法として社会的構成主義の学習理論を整理する。[2時間]
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として学習障害児の学習理論を調べる。[2時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(5)学習障害児を支援する学習理論 算数学習の理論と指導法として学習障害児を支援する学習理論を整理する。[2時間]
第15回	事前学修 授業内容	子どもの認識の発展を支援する算数学習の理論と指導法を整理する。[2時間] 子どもの認識の発展を支援する算数指導法の開発(まとめ)

【成績評価の方法】

授業準備 20%、発表 20%、小レポート 20%、総合レポート 40%

【フィードバック】

レポートは評価、コメントをつけて返却し学習を発展させる。

【テキスト】

特に使用しない。

【参考書】

C.カミ・C.クラーゲ『子どもと新しい算数』北大路書房, 1987

小高俊夫『算数・数学学習に認知科学は役立つか』東洋館, 1992

Hansen,A.: *Children's Errors in Mathematics*, Learning Matters,2005, 他

【履修上の注意等】

英文資料の講読を含める。

授業科目名：算数科教育実践演習		専攻・領域:教育学
担当教員名：原田 耕平		534115 / 半期 / 選必 / 2 単位 / 演習
【到達目標】・戦後のわが国の算数教育カリキュラムの諸改訂における教育目標・内容とその指導法の特徴を説明できる。・近年の代表的な算数指導法の特徴と意義を理解し、演習・模擬授業を通じて多様な実践法を身につける。		
【授業の概要(目的)】戦後のわが国の算数教育カリキュラムの諸改訂における教育目標・内容とその指導法の特徴を明確にした上で、近年における代表的な算数指導法の特徴と意義について理解し、演習・模擬授業を通じて、多様な実践法を探究する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスで授業内容を理解し、算数教育におけるカリキュラム構成の特徴を調べる。[2 時間] 算数教育におけるカリキュラム構成と学習指導法 算数教育におけるカリキュラム構成と学習指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	経験主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 経験主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 20 年代) 経験主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	系統主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 系統主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 30 年代) 系統主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	科学主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 科学主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 40 年代) 科学主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法(昭和 50 年代) 基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	個性重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 個性重視カリキュラムにおける算数指導法(平成元年代) 個性重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法(平成 10 年代) ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法(平成 20 年代) 確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	子どものミスコンセプションを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どものミスコンセプションを活かした算数指導法(診断的教授法) ミスコンセプションを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの多様な考えを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どもの多様な考えを活かした算数指導法(オープンアプローチによる学習指導法) 子どもの多様な考えを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	実験・観察を取り入れた算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 実験・観察を取り入れた算数指導法 実験・観察を取り入れた算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	話し合い・練り上げを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 話し合い・練り上げを活かした算数指導法 話し合い・練り上げを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの推論的活動を支援する算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どもの推論的活動を支援する算数指導法 子どもの推論的活動を支援する算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	コンピュータ利用による算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] コンピュータ利用による算数指導法(ICT 活用による学習指導法) コンピュータ利用による算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第15回	事前学修 授業内容	多様な算数指導法の特徴と意義を整理する。[2 時間] 学習指導法の開発と研究法(まとめ)

回	事後学修	独創的な教材研究と学習指導法を開発する。[2 時間]
		<p>【成績評価の方法】 授業準備 20%、発表 20%、小レポート 20%、総合レポート 40%</p> <p>【フィードバック】 レポートは、評価、コメントをつけて返却し学習を発展させる。</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。</p> <p>【参考書】 吉川成夫『小学校算数科基礎・基本と学習指導の実際』東洋館出版, 2002 Bell,A.: <i>Diagnostic Teaching in Mathematics</i>. Shell Centre, University of Nottingham, 1981. Ryan,J. and Williams,J.: <i>Children's Mathematics 4-14 Learning from errors and misconceptions</i>. Open University Press, 2007. 他</p> <p>【履修上の注意等】 英文資料の講読を含める。</p>

授業科目名： 体育科教育の理論と方法		専攻・領域： 教育学
担当教員名： 松本 祐介		534121／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・体育科教育学の基礎的知識を身につけることができる。 ・体育科教育学における研究方法論を理解することができる。 		
【授業の概要(目的)】		
体育科教育学の基礎的知識を、大きくカリキュラム論と学習指導論に分けて学習し理解を深めるとともに、体育授業を客観的に反省し、授業の質と能力の向上を目指していくため、体育科教育学における研究方法論を学ぶ。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1・2・5		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育科教育学とは チェックテストレポートの作成【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育のカリキュラム論(1)体育領域の位置と役割 チェックテストレポートの作成【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育のカリキュラム論(2)制度的条件 チェックテストレポートの作成【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育のカリキュラム論(3)体育のカリキュラム構成 チェックテストレポートの作成【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育のカリキュラム論(4)体育カリキュラムモデルとカリキュラム評価 チェックテストレポートの作成【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(1)よい体育授業の条件 チェックテストレポートの作成【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(2)英語圏にみる学習指導論 チェックテストレポートの作成【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(3)日本にみる学習指導論 チェックテストレポートの作成【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(4)体育の教材・教具論 チェックテストレポートの作成【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(5)体育の教師行動論 チェックテストレポートの作成【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習【2時間】 体育の学習指導論(6)体育の学習者論(特別支援教育を含む) チェックテストレポートの作成【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	研究方法論とは、を調べておく【2時間】 体育科教育学の研究方法論(1)経験的研究の成果と課題 興味のある研究を探す【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	論文のレビュー【2時間】 体育科教育学の研究方法論(2)質的研究の成果と課題 興味のある研究を探す【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	論文のレビュー【2時間】 体育科教育学の研究方法論(3)教師による実践研究 興味のある研究を探す【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	教員になってから取り組みたいテーマを具体的に考える【2時間】 現職教師が行えること、研究の限界(理論の活用と実践) 期末レポート【2時間】
<p>【成績評価の方法】 期末テスト 40%、課題レポート 40%、講義内発表 20%</p> <p>【フィードバック】 テストは次回フィードバック、レポートは採点后返却</p> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布する。</p> <p>【参考書】 岩田靖ほか編著『初等体育授業づくり入門』大修館書店, 2018</p> <p>【履修上の注意等】 特になし</p>		

授業科目名： 体育科教育実践演習		専攻・領域：教育学
担当教員名：松本 祐介		534122／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・より良い体育授業を設計・実践し、自己評価する力を身につけることができる。 ・現場で即戦力となる実践的指導力を身につけることができる。 		
【授業の概要(目的)】		
実際の小学校体育授業の映像などの具体的な例を用いながら、学習指導法を学んでいくとともに、実際に授業設計、実践、省察を経験し、実践的指導力を高める。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 1・2・5		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校学習指導要領解説体育編の復習【3時間】 オリエンテーション(授業の趣旨,内容,方法,評価等) テキスト「体育の教材を創る」のはじめにを読んでおく【1時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 教科内容の構造 チェックテストレポートの作成【3時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 運動学習・認識学習・社会的学習・情意的学習について チェックテストレポートの作成【3時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 効果的教授についての知見(効果的な教授パターン) チェックテストレポートの作成【3時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 授業のマネジメント(効果的なマネジメント,技術,具体的事例) チェックテストレポートの作成【3時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 学習指導の実践のポイント(特別支援教育を含む) チェックテストレポートの作成【3時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 体育授業で求められる教師の能力 チェックテストレポートの作成【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 指導と評価の一体化 チェックテストレポートの作成【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 授業計画(長期的計画と毎日の授業計画) チェックテストレポートの作成【3時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習【1時間】 教材づくり論 チェックテストレポートの作成【3時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	指導案作成の手順(プリント)の予習【1時間】 授業計画(単元計画)の作成 単元計画の作成【3時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	指導案作成の手順(プリント)の予習【1時間】 授業計画(1単位時間の指導案)の作成 本時案の作成【3時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	模擬授業準備【3時間】 授業計画に基づく授業実践(模擬授業) 省察シートの記入【1時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	省察シートの記入【2時間】 授業計画に基づく授業実践の検討(省察):映像で振り返る、話し合い 講評を踏まえた省察【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	良い体育授業を考え直す【2時間】 優れた実践に学ぶ(体育研究校における体育授業の見学 or 映像) 自身の実践と比較し、省察【2時間】
<p>【成績評価の方法】 レポート 20%、指導案 30%、模擬授業 30%、省察 20%</p> <p>【フィードバック】 テストは次回フィードバック、レポートは採点后返却</p> <p>【テキスト】 適宜プリントを配布する。</p> <p>【参考書】 岩田靖ほか編著『初等体育授業づくり入門』大修館書店, 2018</p> <p>【履修上の注意等】 特になし</p>		

授業科目名： 学校経営特論		専攻・領域： 教育学
担当教員名： 向野 光		534109／半期／選必／2 単位／講義
【到達目標】		
<p>(1)障害児教育の黎明期、振興期の状況を明らかにする。</p> <p>(2)1960 年代以前の障害者処遇の歴史を把握する。</p> <p>(3)「権利としての障害児教育」の登場等 1970 年代の歴史的転換点を理解できるようにする。</p> <p>(4)1990 年代以降の障害児主体の「特別ニーズ教育」への質的転換を検証できるようにする。</p> <p>(5)現在の「インクルーシブ教育」への歴史の推移を明らかにする。</p>		
【授業の概要(目的)】		
この授業では、まず戦後教育改革期～高度経済成長期である 1960 年代までの「特殊教育」の発展と戦前の障害者処遇と障害児教育について検討し、「就学猶予・免除」という名の下に、「排除」されていた子どもたちへの教育に関する戦前と戦後の連続・非連続について考える。その上で、1970 年代以降の「権利としての障害児教育」から 1990 年代以降の「特別ニーズ教育」への流れを概観し、今日までの到達点(インクルーシブ教育)と課題を明らかにする。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP： 1： 2		
【授業計画】		
第 1 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1946～1951 年)を整理しておく(2 時間) 戦後新教育の理念・制度と「特殊教育」制度の発足 (1946～1951 年) 制度としての「特殊教育」を確認する(2 時間)
第 2 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1952～1958 年) を整理しておく(2 時間) 「冷戦」体制の成立と「特殊教育振興」を求める運動 (1952～1958 年) 特殊学級の計画設置をまとめておく(2 時間)
第 3 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1959～1966 年) を整理しておく(2 時間) 能力主義教育政策の登場とその下での「特殊教育振興」(1959～1966 年) 学習指導要領の改訂等をまとめておく(3 時間)
第 4 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、幕末から明治初期の歴史を整理しておく(2 時間) 近代日本における障害者処遇の歴史 障害児教育の黎明期前期をまとめておく(2 時間)
第 5 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、明治末期の歴史を整理しておく(2 時間) 明治末期の特別教育(1)(「劣等児」教育に関する宮城県の事例) 障害児教育の黎明期後期をまとめておく(2 時間)
第 6 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、明治末期の歴史を整理しておく(2 時間) 同 上 (2)(「劣等児」教育に関する長野県の事例) 障害児教育の黎明期後期をまとめておく(2 時間)
第 7 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史を整理しておく(2 時間) 大正期末の特別学級の実態(文部省『特別学級編制に関する調査』/『全国特殊教育状況』) 障害児教育の振興期をまとめておく(2 時間)
第 8 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史と教育を整理しておく(2 時間) 大正自由教育と「劣等児」教育(1)(岡山県倉敷の事例) 障害児教育の振興期の実践例をまとめておく(2 時間)
第 9 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史と教育を整理しておく(2 時間) 同 上 (2)(奈良女高師附小の事例) 障害児教育の振興期の実践例をまとめておく(2 時間)
第 10 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦中史、整理しておく(2 時間) 戦時下の障害者処遇と教育 戦争と障害者の関係性を明らかにする(2 時間)
第 11 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(前期)の歴史を整理しておく(2 時間) 「差別としての特殊教育から権利としての障害児教育へ」(1967～1972 年) 医療中心の時代から教育の時代への転換点であることをまとめておく(2 時間)
第 12 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(中期)の歴史を整理しておく(2 時間) 養護学校義務制予告制令と義務制完全実施をめざすとくりくみ(1973～1978 年) 障害児全員就学の意義を確認する(3 時間)

第13回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(中期)の歴史を整理しておく(2 時間) 養護学校義務制の施行と国際障害者年の下での教育権保障の深化・拡大(1979~1980 年代) これ以後、養護学校教育が発展充実していったことを確認する(2 時間)
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(後期)の歴史を整理しておく(2 時間) 「特殊教育」への批判と「特別ニーズ教育」の国際的承認(1990 年代~) 「場の教育」から「ニーズによる教育」の質的転換を理解する(2 時間)
第15回	事前学修 授業内容 事後学修	「特殊教育」と「特別支援教育」の相違について調べておく(2時間) 特別支援教育を取り巻く現状と地域の直面する課題 特別支援教育の推進がインクルーシブ教育システムの構築に繋がることをまとめる(2時間)
<p>【成績評価の方法】 課題レポート(期末)50%、小レポート(中間)30%、平常点 20% 授業への参加度、授業に関する小レポートおよび期末レポート等によって総合的に評価する。</p> <p>【フィードバック】 レポートは評価、コメントを付して返却し、学修の発展に資する。</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。資料を配付する</p> <p>【参考書】 特になし</p> <p>【履修上の注意等】 障害者教育史観を身につけ、理論と実践の往還教育をまなび、共生社会をめざすインクルーシブ教育が実践できるような学生が受講すること。</p>		

授業科目名： 特別支援教育の理論と方法		専攻・領域：教育学
担当教員名： 向野 光		534105／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】		
(1)特殊教育から特別支援教育への歴史的変革の過程と意義、その背景を理解することができる。		
(2)ノーマライゼーションからインクルーシブ教育システムの構築へのプロセスを明らかにすることができる。		
(3)特別支援教育について理論と実践の両面から追究することができる。		
【授業の概要(目的)】		
従来の特殊教育から特別支援教育への歴史的変革の意義と、ノーマライゼーションの精神の基づいた特別支援教育の理念の把握、特別支援教育の内容及び方法の研究、理論と実践の両面から追究する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP:1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	従来の「障害観」について調べてくる。【2時間】 特別支援教育の理念(1) 「新しい人間観、教育観、障害観」 「障害者の権利条約」についても整理しておく。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	「障害者の権利条約」の批准から現在に至るまでを調べてくる。【2時間】 特別支援教育の理念(2) 「教育の基礎構造改革」研究 基本となった法例についてまとめておく。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領 小・中学部編を読んでおく。【2時間】 特別支援教育の教育課程(1) 「特別支援学校学習指導要領 小・中学部編」研究 学習指導要領と現場の実践の往還教育について考える。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領 高等部編を読んでおく。【1時間】 特別支援教育の教育課程(2) 「特別支援学校学習指導要領 高等部編」研究 学習指導要領と現場の実践の往還教育について考える。【3時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	世界史の概要を調べておく。【2時間】 特別支援教育の歴史(1) 「世界の特別支援教育の歴史的変遷」研究 一般世界史と特別支援教育の歴史が対比できるようにする。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	日本の教育史の概要を調べておく。【2時間】 特別支援教育の歴史(2) 「日本の特別支援教育の歴史的変遷」研究 一般日本史と特別支援教育の歴史が対比できるようにする。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1時間】 特別支援教育研究法(1) 「調査研究・文献研究・実験研究」等 「調査研究・文献研究・実験研究」等の先行研究を調べ直す。【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1時間】 特別支援教育研究法(2) 実践研究法①「事例研究」等 「事例研究」等の先行研究を調べ直す。【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1時間】 特別支援教育研究法(3) 実践研究法②「指導・支援法研究」等 「指導・支援法研究」等の先行研究を調べ直す。【3時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1時間】 特別支援教育研究法(4) 実践研究法③「授業研究」等 「授業研究」等の先行研究を調べ直す。【3時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	ハブ・キャップのある子のライフステージについて考えてくる。【2時間】 学習指導・支援計画(1) 「キャリア教育」・「個別移行支援計画」等研究 ライフステージ全般とその繋ぎ目に当たるものであることを理解する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	前時の計画との関連について調べてくる。【2時間】 学習指導・支援計画(2) 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等研究 この計画をもとにどのような実践がなされているか整理する。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の地域社会(市町村)の現状を調べてくる。【2時間】 特別支援教育と地域社会 「スクール・クラスター、コーディネーター、地域連携」研究 地域社会どのような実践がなされているか整理する。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	ユニバーサルデザインとはどのようなものか調べてくる。【2時間】 特別支援教育と地域社会 「インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン」研究 各学校でどのような実践がなされているか整理する。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題を整理して授業に臨むようにする。【1時間】 まとめと今後の課題 「ノーマライゼーションの精神からインクルーシブ教育へ」 研究課題が修論に結び付けられるようにする。【3時間】
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業の準備、学習態度)30%、課題レポート 50%、発表力 20%等総合的に見て評価する。</p> <p>【フィードバック】 レポートは評価、コメントを付して返却し、学修の発展に資する。</p> <p>【テキスト】 必要に応じプリントや資料を配布する</p> <p>【参考書】 その都度紹介する</p> <p>【履修上の注意等】 ノーマライゼーションの精神やインクルーシブ教育の理念を理解し、ユニバーサルデザインの研究と実践を積極的に実行できる学生が受講すること。</p>		

授業科目名： 特別支援教育実践演習 I		専攻・領域： 教育学
担当教員名： 向野 光		534107 / 半期 / 選必 / 2 単位 / 演習
【到達目標】 キャリア発達を促す視点から、特別な教育的ニーズのある児童に対する指導内容方法を学ぶことによって、一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの力量を高め、実践的指導力を身につけることができる。		
【授業の概要(目的)】 特別支援教育における指導の工夫、キャリア教育の意義と視点を確認しながら、学校現場での体験等によって特別な教育的ニーズのある児童生徒の指導に関する知識と方法を習得する。本演習 I はキャリア発達の視点で課題追求を行う。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP:1		
【授業計画】		
第 1 回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育、キャリア教育について調べておく。【3 時間】 オリエンテーション「特別支援教育実践演習 I」の位置づけ、意義 授業内容を整理する。【1 時間】
第 2 回	事前学修 授業内容 事後学修	演習における自分の課題を整理しておく。【3 時間】 自己教育課題の設定と課題検討のグループワーク 授業内容を整理する。【1 時間】
第 3 回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校における特別支援教育の現状を調べておく。【2 時間】 現場視察(小学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2 時間】
第 4 回	事前学修 授業内容 事後学修	発達障害について整理しておく。【2 時間】 課題研究「通常学級における発達障害児の学習活動」 授業内容を整理する。【2 時間】
第 5 回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学級、通級指導教室における学習について整理しておく。【2 時間】 課題研究「特別支援学級、通級指導教室における学習活動」 授業内容を整理する。【2 時間】
第 6 回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学校 の教育課程について調べておく。【2 時間】 現場視察(特別支援学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2 時間】
第 7 回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学校における障害の特徴や学習上の特性について調べておく。【2 時間】 課題研究「特別支援学校における学習活動」 授業内容を整理する。【2 時間】
第 8 回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア教育の現状と課題を調べておく。【2 時間】 課題研究「キャリア発達と教育支援計画」 授業内容を整理する。【2 時間】
第 9 回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、発表ビュメを作成する。【2 時間】 課題解決のための方策の立案(小学校)、グループ 討議、発表 授業内容を整理する。【2 時間】
第 10 回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の課題に応じた体験の視点を考える。【2 時間】 現場体験(小学校通常学級・小学校特別支援学級・通級指導教室) 体験内容を整理する。【2 時間】
第 11 回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告ビュメを作成する。【2 時間】 現場体験報告会(小学校 教育課題省察と課題追求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2 時間】
第 12 回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、ビュメを作成する。【2 時間】 課題解決のための方策の立案(特別支援学校)、グループ 討議、発表 授業内容を整理する。【2 時間】
第 13 回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア教育の視点を踏えて、特別支援学校での学習活動を考える。【2 時間】 現場体験(特別支援学校) 1. 体験内容を整理する。【2 時間】
第 14 回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告ビュメを作成する。【2 時間】 現場体験報告会(特別支援学校 教育課題省察と課題追求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2 時間】
第 15 回	事前学修	キャリア教育の視点で学んだことを整理し、レポートを作成する。【2 時間】

15 回	授業内容 事後学修	まとめと反省 授業内容を踏まえ、演習のまとめをする。【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 平常点 30%、演習への取組 40%、レポート 30%等により、総合的に評価する。</p> <p>【フィードバック】 レポートは評価、コメントを付して返却し、学修の発展に資する。</p> <p>【テキスト】 その都度プリントで配付する</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校 キャリア教育の手引き』改訂版, 教育出版, 2011.6. 他</p> <p>【履修上の注意等】 学校現場の視察を行う (社会人として、挨拶、服装、言葉遣い、連絡、報告、時間厳守、健康管理が求められる)</p>		

授業科目名： 特別支援教育実践演習Ⅱ		専攻・領域： 教育学
担当教員名： 向野 光		534108／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】 キャリア発達を促す視点から、特別な教育的ニーズのある児童に対する指導内容方法を学ぶことによって、一人ひとりが活躍する学級集団づくりの力量を高め、実践的指導力を身につけることができる。		
【授業の概要(目的)】 特別支援教育、エバーサルトデザイン、キャリア教育等の視点を確認し、学校現場での体験等によって特別な教育的ニーズのある児童の指導に関する知識と方法を習得する。演習Ⅱは個を生かした集団づくりの視点で課題追求を行う。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP:1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育、エバーサルトデザイン等の視点で集団づくりの課題を整理する。【3時間】 「特別支援教育実践演習Ⅱ」の位置づけ、意義 授業内容を整理する。【1時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	演習における自分の課題を整理しておく。【3時間】 自己教育課題の設定と課題検討のグループワーク 授業内容を整理する。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校における特別支援教育の課題を調べておく。【2時間】 現場視察(小学校の特別支援教育の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア発達とエバーサルトデザインの授業づくりについて整理しておく。【2時間】 課題研究「キャリア発達とエバーサルトデザイン(教科、特別活動等)」 授業内容を整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	発達障害の特性に応じた学級集団づくりについて整理しておく。【2時間】 課題研究「発達障害児理解と学級集団作り」 授業内容を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育における発達の視点と指導方法について調べておく。【2時間】 現場視察(特別支援学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育コーディネーターの役割と教育支援計画の作成について整理しておく。【2時間】 課題研究「特別支援教育コーディネーターと教育支援計画」 授業内容を整理する。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	発達段階に応じたグループ学習について調べておく。【2時間】 課題研究「個別対応の発達の視点とグループ化」 授業内容を整理する。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、発表ビュメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策立案(小学校)、グループ討議、発表 授業内容を整理する。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の課題に応じた体験の視点を考える。【2時間】 現場体験(小学校通常学級・小学校特別支援学級・通級指導教室) 体験内容を整理する。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告ビュメを作成する。【2時間】 現場体験報告検討会(小学校 教育課題省察と課題追求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、ビュメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策立案(特別支援学校)、グループ討議、発表 授業内容を整理する。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	自立活動と集団指導の視点を踏まえて、特別支援学校での学習活動を考える。【2時間】 現場体験(特別支援学校) 体験内容を整理する。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告ビュメを作成する。【2時間】 現場体験報告会(特別支援学校 教育課題省察と課題追求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】
第15回	事前学修	演習で学んだことを整理し、レポートを作成する。【2時間】

15 回	授業内容 事後学修	まとめと反省 授業内容を踏まえ、演習全体のまとめをする。【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 平常点 30%、演習への取組 40%、レポート 30%等により、総合的に評価する。</p> <p>【フィードバック】 レポートは評価、コメントを付して返却し、学修の発展に資する。</p> <p>【テキスト】 その都度資料を配付する</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校 キャリア教育の手引き』改訂版, 教育出版, 2011.6. 他</p> <p>【履修上の注意等】 学校現場の視察がある (社会人として、挨拶、服装、言葉遣い、連絡、報告、時間厳守、健康管理が求められる)</p>		

授業科目名： 特別支援教育実践法		専攻・領域：教育学
担当教員名： 向野 光		534106／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】 (1)特別支援教育の専門的理論を教育現場に実践的に応用できるようにする。 (2)現場で体験した実践を理論的にまとめることができるようにする。 (3)関係教育機関と共同して、理論と実践の往還教育ができるような力を養う。		
【授業の概要(目的)】 前期「特別支援教育の理論と方法」を受け、特別支援教育の内容及び方法について、実践面の研究について実例を通してさらに深く追究していく。関係教育機関と共同して実践研究等を実施する。		
【ディプロマ・ポリシー番号】 DP:1		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	新しい「障害観」について調べてくる。【1 時間】 イントロダクション:「新しい人間観、教育観、障害観等」研究再考 「障害者差別解消法」についても調べておく。【3 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	小・中・高等学校の特別支援教育の現状と課題について調べてくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(1) 現状と課題 小・中・高等学校の現状と課題と特別支援教育の共通課題をまとめる。【3 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	「ダウン症、自閉症等」について再考してくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(2) 発達障害研究①「ダウン症、自閉症等」 「ダウン症、自閉症等」の実践例を整理しておく。【2 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	「ADHD、アスペルガー症候群等」について再考してくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(3)発達障害研究②「ADHD、アスペルガー症候群等」 「ADHD、アスペルガー症候群等」の実践例を整理しておく。【32時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で行う研究計画を予め立てておく。【2 時間】 実践研究(1) 「教科別の指導・支援」研究① 特別支援学校 実践可能な計画であるか検証する。【2 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場での研究内容・方法を事前に調べておく。【2 時間】 実践研究(2) 「教科別の指導・支援」研究② 特別支援学級 実践可能な研究内容・方法であるか検証する。【2 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(3) 「領域・教科を合わせた指導」(生活単元学習・小・中学部)研究① 生活単元学習・小・中学部)研究の事例を整理する。【2 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(4) 「領域・教科を合わせた指導」(生活単元学習・高等部)研究② 生活単元学習・高等部)研究の事例を整理する。【2 時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(5) 「領域・教科を合わせた指導」(作業学習等)研究 作業学習等研究の事例を整理する。【2 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(6) 「領域・教科を合わせた指導」(遊びの指導)研究 遊びの指導研究の事例を整理する。【2 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(7) 「自立活動」研究 自立活動研究の事例を整理する。【2 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に授業研究の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(8) 授業研究 授業研究の事例を整理する。【32時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前の学校経営と特別支援教育の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(9) 「学校経営と特別支援教育」研究 学校経営と特別支援教育の事例を整理する。【3 時間】
第14回	事前学修	これまでの情報収集を基に「学級経営 12 ヶ月」を考える。【2 時間】

14 回	授業内容 事後学修	実践研究(10)「学級経営 12 か月」研究 学校経営から学級経営が導き出せるようにする。【2時間】
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	全 14 回の事例を整理して授業に臨むようにする。【2 時間】 まとめと今後の課題「特別支援教育実践法」 理論と実践の往還教育ができるように授業のまとめをする。【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業の準備、学習態度)30%、課題レポート 50%、発表力 20%等総合的に見て評価する。</p> <p>【フィードバック】 レポートは評価、コメントを付して返却し、学修の発展に資する。</p> <p>【テキスト】 必要に応じプリントや資料を配布する。</p> <p>【参考書】 ・小出進 『生活中心教育の理念と方法』 ケイアンドエフ、2010 年 2 月 ・広瀬由美子編著『通常の学級担任が見つける資源・つくるネットワーク』 東洋館出版社、2007 年 9 月</p> <p>【履修上の注意等】 インクルーシブ教育の理念を理解し、エバーサルのデザインの研究と実践に真面目に取り組み、理論と実践の往還教育について学び続けることができる学生が受講すること。</p>		

授業科目名：教育史演習		専攻・領域：教育学
担当教員名：矢田 訓子		534104／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】 近代の主体概念の変遷が説明できる。 近代の主体概念が近代の学校教育の理念や制度に与えた影響を分析できるようになる。 学校における教師と児童の関係について主体概念を踏まえて考察しその課題を検討することができる。		
【授業の概要(目的)】 「主体的な学び」とは何かを考察するために、C.テイラーの「真正性(authenticity)」の観点を導きの糸として近代の主体概念の変遷を追う。近代の主体概念の持つ課題を明らかにし、学校教育への影響を考える。		
【ディプロマ・ポリシー番号】1・2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] オリエンテーション 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 三つの不安：個人主義、道具的理性、穏やかな専制 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] かみ合わない論争 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] ほんものという理想の源泉 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 逃れられない地平 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 承認のニード 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された著作の精読と論点の整理 [2時間] 社会的自我について 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 主観主義のすべり坂 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 闘争は続く 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] もっと微妙な言語 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 鉄の檻？ 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 断片化に抗して 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲の精読と論点の整理 [2時間] 承認の政治 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第14回	事前学修 授業内容	指定された著作の精読と論点の整理 [2時間] 多文化社会ケベックの挑戦：ブシャール＝テイラー報告

回	事後学修	関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第	事前学修	これまでの授業内容の整理 [2時間]
15	授業内容	まとめ
回	事後学修	収集した資料の整理、今後の論文執筆計画の作成 [2時間]
<p>【成績評価の方法】 授業への貢献度 20% 学期内のレポート 30 パーセント 学期末のレポート 50 パーセント</p> <p>【フィードバック】 学期内のレポートは提出後、授業中にその内容を検討する。その検討を踏まえて書き直したものを学期末レポートとして提出する。</p> <p>【テキスト】 C.テイラー『〈ほんもの〉という倫理—近代とその不安』産業図書、2001. (Charles Taylor, <i>The Ethics of Authenticity</i>, Harvard University Press, 1992)</p> <p>【参考書】 授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 授業の進度や内容は学生の興味や状況に応じて変更する場合がある。</p>		

授業科目名：教育史特論		専攻・領域：教育学
担当教員名：矢田 訓子		534103／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】 戦後教育史における論点と議論の変遷を把握できるようになる。 歴史的・理論的に今日の学校教育の課題を検討し論じられるようになる。		
【授業の概要(目的)】 戦後教育史に関する諸論文を精読し、戦後教育史に通底する分析枠を明らかにする。今日の学校教育の諸課題の背景を歴史的・理論的に検討し、それを踏まえて新しい論点の提示を試みる。授業ではディスカッションによってこれらの作業を進めていく。		
【ディプロマ・ポリシー番号】1・2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した資料を要約する。〔2時間〕 オリエンテーション 戦後の学校教育改革の変遷を整理する。〔2時間〕
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 戦後教育言説の成立 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 戦後教育学における国民の教育権論 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 戦後教育における教師の権力性批判の系譜 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 戦後保育・幼児政策の歩みの再検討 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 楽しい授業・学校論の系譜 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 戦後日本における少女という主体 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 記憶空間の戦後と教育 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 日本における脱学校論の受容 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 基礎付主義的教育論の再検討 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育目的論の再構築 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育財の分配をめぐる議論 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育における他者性の問題 追加資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第14回	事前学修 授業内容	配布した論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育における多元性の問題

回	事後学修	追加資料の収集・整理・分析 [2時間]
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	配布した論文を精読し、論点を整理する。[2時間] まとめ これまでの資料の整理し、論文作成の計画を立てる。[2時間]
<p>【成績評価の方法】 授業への貢献度 20% 学期内のレポート 40 パーセント 学期末のレポート 40 パーセント</p> <p>【フィードバック】 学期内のレポートは提出後、授業中にその内容を検討する。その検討を踏まえて書き直したものを学期末レポートとして提出する。</p> <p>【テキスト】 特に指定しない。授業中にプリントを配布する。</p> <p>【参考書】 森田尚人・森田伸子・今井康雄編『教育と政治―戦後教育史を読み直す』勁草書房、2003。他 授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 授業の進捗や内容は学生の興味や状況に応じて変更する場合がある。</p>		

授業科目名：教育思想演習		専攻・領域：教育学
担当教員名：矢田 訓子		534102／半期／選必／2単位／演習
【到達目標】 教育学における他者論の受容の背景を踏まえて、大人—子ども関係を考察できるようになる。 多様な価値を尊重する社会的連帯の在り方を理論的に考察しその課題を論じられるようになる。		
【授業の概要(目的)】 インクルーシブ教育に基づいて学級経営を行う教師にとって、近代社会における権力性と教師の位置づけを自覚し、子どもの主体的な学びをサポートしていくことは最も重要な課題の一つである。そこで本演習では、教員の権力性批判の論理として受容された他者論の展開を概観し、大人—子ども関係の再検討を行う。		
【ディプロマ・ポリシー番号】1・2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	事前に配布した資料を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 オリエンテーション 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。 規律と訓練①『監獄の誕生』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。 規律と訓練②『監獄の誕生』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。 しつけと文明化『もじゃペーでしつけを学ぶ』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育の危機①『過去と未来の間』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教育の危機②新教育批判『過去と未来の間』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 リトルロックについて考える①『責任と判断』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 リトルロックについて考える②家庭の権利『責任と判断』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 公共圏について考える『ハーバーマスと教育』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 社会的排除について考える①『社会的排除』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 社会的排除について考える②社会的包摂の在り方『社会的排除』 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 他者の承認について考える①「承認をめぐる政治」 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 他者の承認について考える②承認とアイデンティティ形成「承認をめぐる政治」 追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第14回	事前学修 授業内容	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 他者の承認について考える③アイデンティティ・ポリティクス「承認をめぐる政治」

回	事後学修	追加の資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	これまでの内容を整理し、新しい課題を見つけ出す。〔2時間〕 まとめ これまでの資料の整理し、論文作成の計画を立てる。〔2時間〕
<p>【成績評価の方法】 授業への貢献度 20% 学期内のレポート 30 パーセント 学期末のレポート 50 パーセント</p> <p>【フィードバック】 学期内のレポートは提出後、授業中にその内容を検討する。その検討を踏まえて書き直したものを学期末レポートとして提出する。</p> <p>【テキスト】 指定しない。</p> <p>【参考書】 授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 授業の進度や内容は学生の興味や状況に応じて変更する場合がある。</p>		

授業科目名：教育思想特論		専攻・領域：教育学
担当教員名：矢田 訓子		534101／半期／選必／2単位／講義
【到達目標】 近代公教育の理念を踏まえて、現在の教育制度の組織や運営の在り方を説明することができる。 シティズンシップ教育の内容を検討しその課題を分析することができる。 シティズンシップ教育における学習と教授の関係を整理し、その具体的な在り方を提案できるようになる。		
【授業の概要(目的)】 小学校教員としての資質を真に高めるためには、近代公教育制度の理念や思想について学ぶことが不可欠である。そこで本講義では、インクルーシブ教育を支えるシティズンシップやシティズンシップ教育の理念に注目し、教育理念の理解を深めていく。		
【ディプロマ・ポリシー番号】1・2		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	著者について調べる。〔2時間〕 オリエンテーション 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 学校と社会の中で学習する民主主義 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 シティズンシップの教授から民主主義の学習へ 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 カリキュラム・シティズンシップ・民主主義 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 ヨーロッパのシティズンシップと高等教育 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 知識・民主主義・高等教育 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 知識経済における生涯学習 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 学習する民主主義に向けて 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 市民としての学習を理論化する 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 民主主義・シティズンシップ・公共圏 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 測定の時代におけるよい教育とは何か 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された論文を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 学校の役割：資格化、社会化、主体化 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕 教師の判断、教育的専門性について① 関係する資料の収集・整理・分析〔2時間〕
第	事前学修	指定された範囲を精読し、論点を整理する。〔2時間〕

14 回	授業内容 事後学修	教師の判断、教育的専門性について② 関係する資料の収集・整理・分析 [2時間]
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	これまでの授業のまとめと問題の整理 [2時間] まとめ 収集した資料の整理、今後の論文執筆計画の作成 [2時間]
<p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢・態度…20%、学期内のレポート…30% 学期末のレポート…50%</p> <p>【フィードバック】 学期内のレポートは提出後、授業中にその内容を検討する。その検討を踏まえて書き直したものを学期末レポートとして提出する。</p> <p>【テキスト】 G.ビースタ『民主主義を学習する：教育・生涯学習・シティズンシップ』勁草書房、2014.</p> <p>【参考書】 J.デューイ『民主主義と教育』(上)(下)、岩波文庫、1975ほか、授業内で適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 授業の進度・内容は学生の興味や状況に応じて変更する場合がある。</p>		